

【消防車について】

Q なぜ消防車は赤色、救急車は白色なのですか？

昭和26年の運輸省令「道路運送車両の保安基準」で、車体の塗色は消防車が赤色、そのほかの緊急自動車は白色と指定されました。しかし、この理由については定かではなく、輸入した消防車の色が赤色だったからとも言われています。

Q 災害出動しているときは何キロぐらいで走行しているのですか？

道路交通法で、緊急時には時速80キロを超えない範囲で走行が認められています。しかし、赤信号の交差点では一時停止をして安全確認するなど、状況に応じた速度で走行しています。

Q 消防車には何を積んでいるのですか？

消火するための水やホースをはじめ、高所に移動するためのはしごや有害な煙やガスから隊員を守る空気呼吸器、暗いところで使用するライントや危険物（車のガソリンなど）が漏れた場合に使用する中和剤など、細かい物も含めれば100種類以上の道具を積んでいます。

【消防の装備について】

Q 防火服はどのくらい重さ？燃えないのですか？

防火服自体はそれほど重くはありませんが、空気呼吸器などの装備を含めると10キログラム程度です。防火服はISO（国際標準化機構）基準に基づいて作られているため、火災の熱でもすぐに燃えないような素材を使用していて、消防職員を火災から守っています。

Q 空気呼吸器は、何分ぐらい使用することが出来ますか？

普通に呼吸をしていれば30分程度ですが、消防活動中は呼吸が速くなるので、10〜15分程度です。空気の残量が少なくなると警報が鳴って知らせられるようになっていきます。



担当/消防隊長
氏名/小林 克則
階級/消防司令



担当/消防隊員
氏名/二艘舟 等
階級/消防司令補



担当/消防隊員
氏名/田村 将央
階級/消防士



担当/消防隊員
氏名/不動 泰
階級/消防士



担当/消防隊員
氏名/田畑 勇志
階級/消防士

【災害について】

Q 現場に着くのは通報から何分？

場所によって違いますが、平均6分程度で現場に着きます。

Q 消防車が出動中に別の災害を発見したらどうするのですか？

出動中に、別の災害を発見しても、最初に出動指令を受けた災害現場に出動します。しかし、発見した災害の状況を瞬時に判断し、消防車の無線で指令室に連絡します。そして、指令室から次に待機している消防隊に出動指令し、災害現場に駆けつけます。その際、休日の消防士を招集し、被害拡大しても対応できるよう備えます。

【その他】

Q 新人消防士の研修や訓練は？

消防士に採用されると、消防学校に半年間、815時間のカリキュラムで、機械器具の取り扱いやホースを伸ばすことなど、消防士として自らの安全を確保し、災害現場で基本的な活動ができるよう徹底的に訓練を行います。



担当/消防隊員
氏名/越岡 恵範
階級/消防士

Q 通報する際に気を付けることは？

まず、火事か救急かを伝えてください。あとは、場所・状況など、必要な情報を指令員が聞きますので、一方的に話さず、こちらの問いに答えてください。場所の確認のため、目標物や隣の家の名前を聞くこともあります。

Q 年間の出動回数は？

平成25年度の実績では、火災が48件、救急は2千789件です。平成26年の救急出動は、昨年を上回り、過去最高を記録するペースです。



担当/消防隊員
氏名/杉木 啓悟
階級/消防士



担当/消防隊長
氏名/森 仁宏
階級/消防司令



担当/消防隊員
氏名/飯田 慎哉
階級/消防士

Q 今までに一番危なかった場面は？

消火活動中に建物が崩れ（外壁が倒れてきて）、私を含め若い隊員がその下敷きになりそうになったときです。また、緊急車両を運転中、火災現場近くで巻き上がった煙に巻き込まれ、前が見えなくなり、身動きが取れなくなったときも危ないと感じました。



担当/消防本部員
氏名/寺下 隆治
階級/消防士長



担当/通信指令員
氏名/藤井 知征
階級/消防士長